



明V連だより

～ボランティアとボランティアをつなぐ広報紙～

117号 令和5年1月
発行：明石市ボランティア連絡会
編集：広報部 編集委員会
明石市貴崎1丁目5番13号
明石市立総合福祉センター内
TEL・FAX 078-924-9112



新年あけましておめでとうございます

令和5年は明V連の飛躍の年に！



明石市ボランティア連絡会
会長 坂口 逸子

新たな年を迎え、会員の皆様には穏やかな新春をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年は3年ぶりにボランティアフェスタを開催し、久々に皆様の笑顔や生き生きとした姿に触れ、開催の意義を実感しています。ご協力ありがとうございました。また、初めて県外のボランティア団体との交流会を実施し、活動の紹介やグループワークでの意見交換を通して共通の課題を確認し、今後のボランティアについて話し合うなど大変有意義な時間を過ごしました。

今年は昨年の経験を活かし、コロナを乗り越え何事にも挑戦の気持ちをもって明V連の飛躍の年にしたいと願っています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

つながりとふれあいの地域づくりへ



明石市社会福祉協議会
理事長 野村 信一

新年明けましておめでとうございます。

昨年12月に皆様とともに開催しました「第14回あかしボランティアフェスタ」は、様々な活動紹介を通して、住民が主体的に集う「つながりの輪」、住民同士の相互理解が深まる「ふれあいの和」といったボランティアの意義を発信、再確認するイベントとなりました。

こうしたボランティアの皆様、地域の皆様との貴重な機会や経験一つ一つを積み上げながら、引き続き社会福祉協議会一丸となって地域福祉の向上に取り組んでまいります。

ボランティア連絡会の皆様、本年も宜しくお願い致します。

令和4年度受賞おめでとうございます

厚生労働大臣表彰：介護ボランティアたんぽぽ（技術分野）



グループ結成が昭和 61 年 4 月で、介護グループとして活動してきました。その成果がこの度、厚生労働大臣表彰をいただきました。介護の保険制度も定着してきた今、またコロナのため活動は少なくなるばかりです。でも、どの施設にも行けない方もおられて、その人たちのためにもまだまだ頑張っていきたいと思います。（阿部 洋子 記）

兵庫県民ボランティア活動賞：中崎なかよし会（地域分野 明石ブロック）



民生委員と協力委員、ボランティアが集まって平成 4 年 7 月 22 日に地域ボランティア「中崎なかよし会」を設立し、ふれあい会食や友愛訪問など、主に高齢者の見守り活動を行ってきました。

コロナ禍でも工夫しながらできる活動を続けています。受賞を励みに今後も地域の皆さんに喜んでいただける活動を続けていきたいと思っています。（坂口 逸子 記）

兵庫県くすのき賞：二見はまなす会（地域分野 魚住・二見ブロック）



あったか訪問で、92 才の男性宅を 2 人で訪問した時のことです。干支のうさぎのミニ色紙とカイロ、そしてメッセージを持参。男性は、毎年のプレゼントを全部見せてくださり、いつも楽しみにしていますとのこと。ボランティアをして良かったと感激!!

この度、兵庫県くすのき賞をいただき、ますますボランティアが楽しくなります。（大西 まさみ 記）

明石市福祉功労表彰：錦が丘 1 丁目ボランティア会（地域分野 魚住・二見ブロック）



この度は栄誉ある賞をいただき光栄に思います。

私たちがこの喜びを得ることができたのは、よき先輩会員に恵まれたおかげです。心から感謝申し上げます。

この賞に選ばれたことを誇りにし、この賞をけがすことのないようにこれからも努力します。（伊藤 浩司 記）

我慢の自粛から、with コロナに向けて

コロナ禍での経験と、with コロナに向けた各グループの思いを連載します

手話サークルつくしんぼ：技術分野



コロナ禍で、会員数に見合う部屋の予約が困難に。活動の減少と相まって機関紙を通信(お知らせのみ)の発行に。例会では手話学習の時間が増加し、透明マスクは必要不可欠に。室外に目を向けて散策も実施。サークル内行事を増やし研修会も多数開催。今後も無理をせず、いま出来ることを丁寧に進めてまいります。(井口 朋子 記)

手話サークルしゅわいろ：技術分野



私たちは、明石ろうあ協会と一緒に「手話言語」や「聴覚障がい」について広く知ってもらうために活動しています。聞こえない方たちと交流しながら「手話」だけでなく「文化・歴史」なども学んでいます。例会日は、第 1. 2. 4 水曜日、夜 7 時～8 時 30 分。初めての方でも参加しやすく楽しい例会を目指して日々頑張っています。(宿院 真由美 記)

あかし要約筆記サークル：技術分野



私たちは総合福祉センターの開所と同時に発足し 31 年目を迎えました。コロナ禍ですが月 2 回の例会・学習会を開いています。今年度は 11 月に、明石難聴者の会の皆さん、聞こえのサロン(明石)の皆さんと、神戸どうぶつ王国へ久しぶりのバス旅行に出かけました。園内の説明などを書いて伝えて交流し、秋の一日を楽しみました。(光岡 麗子 記)

サークルりんりん：技術分野



創立 30 年を超え活動の形態も変わってまいりました。最近では小学 4 年生の福祉授業として車いす体験が増えてまいりました。安全のため当会員 10 名で対応することにしており、昨年までは派遣に四苦八苦しておりましたが、今年 10 名の新入会員が有り多くの学校の依頼に応えることが出来ました。子どもたちとの交流が活動の原動力です。(阿部 元則 記)

北朝霧丘「こもれび」：地域分野 明石ブロック



16年目に入った「ふれあいサロン “こもれび”」ですが、コロナ禍の中、状況に合わせた対策を取りながら、お茶会のお菓子は持ち帰りし、手芸・園芸・エンタメなどを楽しんでいます。また、年に2～3回、友愛訪問を行っています。誰もが明るく笑顔で集える場になるよう、これからも務めていきたいと考えています。（小林 公子 記）

ボランティア和の会：地域分野 西明石ブロック



この2年間はふれあい会食の開催もままならず「できない、やらない」ではなく「どうしたらできるか考えよう」と試行錯誤の日々でした。コロナ禍においてもせめてクリスマス会は・・・と規模を小さくして開催してきました。本年度は会食もできておりますが、コロナ感染は決して楽観できる状況になく、慎重に進めていきたいと思っております。（藤原 寿子 記）

林うずしお会：地域分野 西明石ブロック



定例会は毎月第1土曜日に、12名の役員を集めて実施。12月までのうち8月のみ休止で8回した。「七夕の集い」は中止となったが、子育て広場・ミニケアサロン・ふれあい会食・愛の宅配便・小学生や幼稚園児との交流やサポート・まち協行事への参加など44名の会員は、それぞれ分担して活動にあたった。よい刺激になったの声も有。（小林 陽治 記）

林崎町3丁目ふきのとう：地域分野 西明石ブロック



5年前からふれあいサロンを始め、毎週水曜日に脳トレ・歌踊り・ゲームなどを楽しんだ後、ラジオ体操で終わります。その他将棋・マージャン・カラオケなどもあり、地域の居場所として楽しまれています。つどいの七夕は子どもの参加が多く大人も含めて100人くらい集まり、地域の大会イベントです。コロナ対策は基本を守って活動しています。（丹野 里美 記）

ボランティア小鳥の会：地域分野 西明石ブロック



鳥羽小コミセンを拠点に「喫茶とばピー」と「ふれあいサロン」を開き、地域交流・いこいの場づくりとして活動。公園でスポーツを楽しんだ帰り、コーヒーでおしゃべりしに立ち寄る高齢者グループも。恒例クリスマス会は多くの高齢者参加があり、コロナ感染対策に注意し、サクソ・二胡奏者のコンサート・ビンゴゲームとボランティアにも楽しいひとときでした。（児島 恵子 記）

ハートの会：地域分野 大久保ブロック



コロナ以前は地域の皆さんと調理会食をしていましたが、密を避ける為、春は近くの八幡神社へお花見に、秋は明石公園の菊花展へ作業所の皆さんと出かけました。回数も重なり楽しくにぎやかに交流できました。今年度もお弁当は市販のものにし、広場で歌やビンゴゲームをしていきたいと思っています。

(立花 和美 記)

ふるさと南：地域分野 大久保ブロック



我々のグループは、他のグループに比べまだ年数が浅く、日々頭をめぐらせ活動しています。コロナ禍になって手作りのパーテーションを作り、参加者の皆さんに安心してサロンに来ていただけるようにしました。今ではマスク着用も当たり前になり文句も出なくなりました。一日も早くマスクなしでお話が出来たらいいなと願っています。(原 明美 記)

二見はまなす会：地域分野 魚住・二見ブロック



毎年のことのように七夕まつりを実施。

地域の高齢者と小学生以下の子どもたちとの三世代交流会です。ゲストに二見中学校吹奏楽部と合唱部を招待。コロナ禍と熱中症対策を気にしながら、マスク、手指消毒など。笹飾りの短冊に願い事を書いて、みんな楽しいひとときを過ごしました。(大西 まさみ 記)

錦が丘1丁目ボランティア会：地域分野 魚住・二見ブロック



コロナが収まらない中、私たちのクラブでは人と人のつながりを持つのが困難な状況が続いていますが、以前から続けている友愛訪問を中心に活動しました。密といった距離感を感じながら、校区のひとり暮らしの方々との顔の見える交流が私たちの活力となりました。今後は以前のような交流会などに取り組みたいと思います。

(伊藤 浩司 記)

病院ボランティアまごころ：施設・環境分野



私たちは、市民病院外来で案内など患者様のお手伝いをしています。コロナ発生以来、私たちが感染源にならないよう、やむなく活動を休止しています。そんな中でも、何かできないかと考え、四季折々に折り紙を使った色紙を作成し、院内数か所に掲示しています。多少とも安らぎを感じてもらえれば・・・

コロナが早く収束し、活動再開の日が来ることを願いながら。

(深井 照子 記)

あかね・ゆうゆう：施設・環境分野



「しゃべっちゃえ、世界と！日本語で」とは日本ファンの世界の人々と、経験豊かな日本の熟年のグローバル日本語会話ボランティアの Sail です。内容は外国人技能実習生への日常会話講師です。コロナで対面の活動が不可となり、リモートなので始めた。各々の国の挨拶を皮切りに 110 人の若者と会話を楽しむことができた。

(岩崎 三彌太 記)

リサイクルボランティアもったいない明石：施設・環境分野



使われなくなり寄付をいただいた福祉機器（電動ベッド、車いす、杖など）を、次に必要な方に提供するため、点検・小修理・洗浄・消毒などの作業を行っています。現在、会員は 8 名。月 2 回、第 2 駐車場横で活動しています。夏の暑さ、冬の寒さや水の冷たさは厳しいですが、安全に安心して使っていただくため心を込めてリサイクル作業に励んでいます。(熊取谷 護 記)

よみきかせ「はとの会」：教育分野



月 4 回の図書館でのよみきかせ、“今回は参加者あるのかな？”と思いつつのコロナ禍活動です。夏頃からぼつぼつお声をかけていただき小学校学童、高齢者施設等の訪問で絵本のよみきかせ、紙芝居、人形劇等を楽しんでいただいています。子どもたちの声から元気をもらい絵本の楽しさすばらしさを伝えられたらと今後の励みにしています。

(菅原 尚子 記)

あゆむ：教育分野



私たちのグループは、谷八木小学校区でこども食堂をしています。コロナ感染拡大防止対策として、お弁当の配布という形での活動が多いですが、子どもたちが集えるこども食堂も時々開催、少しずつ賑やかさを取り戻しています。ボランティアも歓迎します。興味がある方はご連絡ください。

(野元 京子 記)

びっくり箱：文化・健康分野



びっくり箱は、ふれあいサロンや高齢者施設等で、大型紙芝居・楽器演奏・朗読・詩吟・手品・歌等のエンターテイメント活動を行っている。コロナ禍で活動が減少して各施設が使用不可の時期は、公園等の屋外で定例会議を実施してメンバー間の連携を保った。その後施設の使用制限が緩和されたので、感染防止対策を行って活動している。(小松 辰則 記)

沖縄エイサー東二見琉球会：文化・健康分野



明石を中心にボランティア活動をしています。

エイサーは沖縄県の伝統芸能のひとつで、地謡（じーうてー）の三線に合わせて演舞します。

コロナ禍でご心労ではございますが、皆様に沖縄を少しの間でも感じていただき、楽しい時間を共有できたらと思います。一生懸命演舞しますので、これからも応援よろしく願いいたします。（菅井 嘉夫 記）

明石望海マジッククラブ：文化・健康分野



コロナ禍でボランティア活動のマジックショーの開催が非常に少なくなり、毎月の例会では、各自のマジックの持ちネタ・新ネタを披露し、良い点、改善点などの意見交換をして、マジックを楽しんでいます。同時に、各自のマジックの技量をみがいて、今後のマジックショーでは今まで以上に観客に喜んでもらえるように練習しています。（山崎 忠成 記）

あかし健康ソムリエ会：文化・健康分野



あかし健康ソムリエ会は元気なまちあかしを目指して、地域での活動を通し健康に関する知識や健康体操を広める活動をしています。現在、市内4か所で血圧、体重計測等の健康チェックや各種健康体操を実施しています。コロナ禍で、運動不足や健診控え等、体に悪い習慣が付いた人も、私たちと一緒に楽しく体を動かし健康になろう！

（原田 晴美 記）

明石野々池マジッククラブ：文化・健康分野



明石野々池マジッククラブの心掛けは、三つの輪の心掛けです。

一つ、地域とのつながり

・ひとり暮らしの人もTV コンセントを抜いてマジックを見よう。
二つ、子供たちに創造性を養うマジックショーを行う

・幼児期は生涯の中で最も好奇心が強く、創造性伸長の基礎が創られる重要な時期です。

三つ、会員相互の技術指導と信頼です。

・講師が来れない中でも、会員相互に親睦して練習している。

（吉川 司朗 記）

【編集後記】

コロナ禍にあって、以前の様な活動が出来ない中でも、各グループは色々な工夫をされています。また、対面活動がなかなか出来ないことで、ボランティア活動によって我々が活かされている事を再認識されている様子がうかがえました。

広報部一同



明石市ボランティアセンターだより



令和 5 年度 ボランティア活動 保険のご案内

令和 5 年度の保険加入受付は 2023 年 3 月からスタートです！

☆令和 5 年度の申込書は 3 月上旬到着予定です。必要な場合はお問合せ下さい。

<加入手続きの流れ>

ボランティア保険は **2 種類**あります。

- ① パンフレットの申込書に必要事項を記入
- ② 明石市社会福祉協議会の窓口に来所(住所は下記に記載)
- ③ 窓口で保険料をお支払い
- ④ 市社協が受付印、受領印押印
- ⑤ 加入控えを受け取る

○持ち物○

申込書、保険料

【法人の場合】…法人印必須

●その他、ボランティア行事用保険
なども用意しております。

兵庫県ボランティア・市民活動災害共済

市民活動災害共済プラン:500 円～

天災危険補償プラン:600 円～

☆お知らせ☆

兵庫県ボランティア市民活動災害共済のみ、ふれあいプラザあかし西の 3 階ボランティア活動室でも臨時受付窓口を設置します(^O^)/
●3 月 24 日(金)●3 月 29 日(水)



全国社会福祉協議会ボランティア活動保険※

基 本 プ ラ ン : 350 円～

天災・地震補償プラン:500 円～

特定感染症重点プラン:550 円～

上記パンフレットは 2022 年度分※保険掛金は変動する場合があります



レクリエーション用具の紹介

新しくレクリエーション用具の「ユニボッチャロトロ」が増えました\(^o^)/
サロン、各種団体での交流の場などにご活用ください！

レクリエーション用具のご相談はお気軽に下記お問合せ先へご相談ください☺

- レク用具に関して:明石市社会福祉協議会窓口、ふれあいプラザあかし西ボランティア活動室にてレクリエーション用具の貸出を受け付けております。
ふれあいプラザあかし西ボランティア活動室: ☎(078) 945-0289

兵庫信用金庫様より
寄贈いただきました



【申込み・問合せ】 明石市社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉係(明石市ボランティアセンター)

明石市貴崎1丁目5番13号 明石市立総合福祉センター内

電話:(078)924-9105 FAX:(078)924-9109

(業務時間) ※土日祝、年末年始除く
8:55～17:40

